

# 集落座談会 意見要望に対する回答



西部(西古川地区)

については作成を予定しておりますので、作成後、組合員の皆様へ配付いたします。

**Q** 経済センター・営農センターへ国道47号線から入る場合、特に左折箇所がわかりにくいいため、目立つ看板の再設置や左折手前での誘導看板等を検討して欲しい。

**A** ご意見を踏まえ検討して参ります。

**Q** 合併後も新JA全体の広報誌だけでなく、古川地域版の広報誌発行を継続して欲しい。

**A** 現在、検討しております。

## 《金融共済関係》

**Q** 古川駅前出張所のATMは残すよう要望する。

**A** 第18回通常総代会(平成28年6月28日開催)で承認された本支店機能再編計画に基づき、古川駅前出張所のATMは稼働いたします。

**Q** 家族複数名がJAで年金を受給しており、誕生日プレゼントが同一のものが増え過ぎるので、他の物も選択できるようにして欲しい。(一揃いになるように、2〜3年同一の物ももらいたい。という意見もあり)

**A** 商品構成も含め検討して参ります。

## 《営農指導関係》

**Q** 合併後の購買品のスケールメリット、販売品の有利販売を期待する。

**A** ご期待に応えられるよう、合併メリットを發揮して参ります。

**Q** 地域とも補償への未加入者が増えているので、見直しを検討して欲しい。また、承諾書は連記式ではなく、個別に承諾をもらう様式に変更して欲しい。

**A** ご意見を踏まえ検討して参ります。

**Q** 野菜出荷時に、資材や肥料・農薬等を購入できるようにして欲しい。

**A** 部会ごとに予約申込書に基づき、配送しておりますのでご理解願います。

**Q** 地域とも補償について、集団転作に取り組まない場合(自己完結)の補償が薄い。このため加入の意味を見出せない未加入者が多数発生すると思われるが、基金の造成、支払いが計画どおりになるのか大変不安である。

**A** 生産調整の実施に伴う経済的不利益を相互に補償し合うことと、質の高い水田農業を確立していくため経営安定対策等と合わせて実施しておりますので、ご理解願います。地域とも補償実施計画に基づき実施して参ります。

**Q** 今年の育苗時において、「ばか苗」の発生比率が高かったため、発生原因の調査をお願いしたい。温湯消毒時や管理の問題ということも聞いているが、そうであれば新たな温湯消毒施設を設置するなどして、しっかり管理できる体制と施設の整備を要望する。

**A** 県内でも「ばか苗」の発生地点率は平年より高い状況でしたので、調査を実施し、今後の対応策を講じて参ります。また、施設等の整備は今後の検討課題といたします。

**Q** 生産調整を進めるうえでも、地域とも補償事業についての合併後の方向性を示して欲しい。

**A** 今後も継続して事業を実施して参ります。

**Q** 米の直接支払交付金が廃止されたことにより、地域とも補償への加入メリットが薄れ未加入者が増えることが懸念される。とも補償拠出金の引き下げや助成金体系の見直し等、とも補償制度自体の在り方を含め再検討する時期ではないのか。

**A** ご意見を踏まえ検討して参ります。

平成30年度 第1回集落座談会開催結果  
開催期間：6月19日(火)～22日(金)

支店名	組合員 戸数(戸)	出席者数			出席率 (%)
		男(人)	女(人)	合計(人)	
東 部	1,843	264	36	300	16.3
西 部	1,600	316	52	368	23.0
南 部	1,496	331	94	425	28.4
北 部	1,794	260	52	312	17.4
計	6,733	1,171	234	1,405	20.9
(参考) 平成29年度 同期開催	6,643	1,221	252	1,473	22.2